

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KOKO		公表日 R8 年 2 月			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	利用定員や活動内容に応じて、活動スペースや部屋の使い分けを行い、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	子どもの特性や活動内容に応じて職員配置を調整している。OT・PTが不在となる場合や職員数が限られる状況においても、職員間で役割分担を工夫し、安全で安心できる支援体制の維持に努めている。	OT又はPT不在。配置数少ない。学校から児童が帰ってきたり、職員の休みによっては少ない時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		視覚的に分かりやすい環境構成を行い、子どもが見通しを持って行動できるよう配慮している。災害時にも不安を軽減できるよう、避難場所や行動手順を視覚的に示す工夫を行い、今後も改善を進めていく。	災害時不安が残る。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		子どもの状態や活動内容に応じて、職員配置や役割分担を柔軟に調整している。長期休み期間においても安全に支援が行えるよう、事前に利用状況を把握し、支援体制や活動内容を調整するなどの工夫を行っている。	長期休み時心配になる時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	3	日々の支援について職員間で共有・振り返りを行い、支援の質向上につなげている。振り返りが十分に共有できない場合があるため、記録の活用やミーティングの工夫により、情報共有の強化を図っている。	振り返りが共有できていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	保護者向け評価表や日常のやり取りを通じて意向を把握し、業務改善に生かしている。	各自見てくださいますがあるかもしれないが聞いている人聞いていない人がいると思う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	ミーティングや意見箱等で職員の意見や気づきを把握する機会を設け、業務改善につなげている。後回しにならないよう、優先順位を意識し段階的な改善を進めている。	後回しが多い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	今年度より各委員会を発足し、委員会が主体的に内部研修を実施したり、外部研修への参加を通じて、職員の専門性向上に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	支援プログラムを作成し、内容を共有した上で支援を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		アセスメント結果を基に、職員間で共通理解を図りながら児童発達支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリング作成や、モニタリング会議を行い、職員間で共通理解を図りながら児童発達支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	活動プログラムは個人任せにならないよう、職員間で意見交換を行ったり、交流会等に参加し療育の情報交換を行い、立案・見直しを行っている。	個人任せのところがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。引き続き工夫を重ね、より適切な支援につなげていく。	努力はしている。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	支援開始前に職員間で打合せを行い、支援内容や役割分担を確認している。実施が難しい場合も情報共有を意識し、連携を図っている。	必ずではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	3	2	支援終了後に振り返りを行い、気づいた点を共有している。状況に応じて方法を工夫し、支援の質向上につなげている。	必ずではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		保育・医療・福祉等の関係機関と連携し、支援の一貫性を大切にしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	地域の中で他の子どもと活動する機会を設けている。外出等を通じ、今後も交流の機会を広げていく。	機会が少ない。 出かけることはある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡ノートや送迎時等に日々の様子を保護者と伝え合い、成長や課題について共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	家族支援の重要性を意識し、情報提供等を行っている。今後は研修や支援プログラムの充実について検討していく。	家族に対しての研修が提供できていない。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		運営規程や支援内容について、保護者に分かりやすく説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		児童発達支援計画について保護者の同意を得て支援を行っている。今後は説明の機会をより丁寧に設けていく。	説明に行っていないが同意は得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	保護者同士の交流の重要性を認識している。今後、参観日や父母の会等の活動支援について検討していく。	父母の会の活動、支援が出来ていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		通信やSNS等を活用し、日々の活動の様子や連絡事項を発信している。		

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いに十分配慮し、適切な管理を行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを整備し、職員への周知を行っている。今年度より委員会制を導入し、担当スタッフが中心となって内容の確認や訓練を行い、非常時に適切に対応できる体制づくりに努めている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害に備えた体制を整えている。今年度より委員会制を導入し担当スタッフが中心となり、避難訓練や緊急時対応の確認を行い、職員の意識向上と対応力の強化に努めている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行いながら、安心して支援を行える体制を整えている。今年度より委員会を発足し、担当スタッフが中心となって安全管理の確認や見直しを行い、継続的な安全対策の強化に努めている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		今年度より委員会制を導入し、担当スタッフが中心となりヒヤリハット事例を共有し、再発防止に向けた検討を行っている。継続的な共有を意識し、安全管理の向上に努めている。	する時もあればしない時もある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		今年度より委員会制を導入し、担当スタッフが中心となり虐待防止に関する研修や情報共有を行い、職員の意識向上を図っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			